

2 運営について

「地域プラットフォーム」は、地域の様々な団体が、地域の課題を認識・共有し、将来の方向性や、魅力的なまちにするための計画づくりを、一堂に会して話し合うものです。

「朝倉台地域プラットフォーム」では4回の話し合いがもたれ、最終的に、地域の課題解決に向けた5つの実行計画が作成されました。



朝倉台地域プラットフォーム

1回目
現状の
共有

2回目
将来の
方向性

3回目
方策の
検討

4回目
計画
づくり

「朝倉台地域プラットフォーム」では、自治会、自主防災会、ボランティアグループ、民生児童委員協議会、サークル団体等の各種団体から、毎回30人以上の参加者が集まりました。

話し合いを効率的かつ効果的に行うためにファシリテーションの手法を用いました。詳しくは、第3部(話し合いを活性化させるために)で説明をします。

運営の中心メンバーの役割

■プログラムシートの作成

・狙いや期待する成果、どんな内容で、どう話し合いを進めるかをあらかじめ中心メンバーで話し合っ、プログラムシートを作成しておきましょう。

■会場の準備

・受付の設置、机やイスの配置、音響のセッティングなどを行きましょう。
・早く会場に来た参加者には手伝ってもらいましょう(参加者の参加意識を高めることにつながります)。

■受付

・相手がもてなされていると感じるように、笑顔での対応を心がけましょう。

■写真撮影

・記録と今後の参考のため、写真を撮影しておきましょう。

■対話への参加・促進

・対話に参加して、よりスムーズに進むようにしましょう。
・話し合いのきっかけを提供したり、脱線した話し合いをテーマに沿った話し合いに誘導したり、他の人に対する批判や非難があれば止めるようにしましょう。

■ファシリテーターの支援

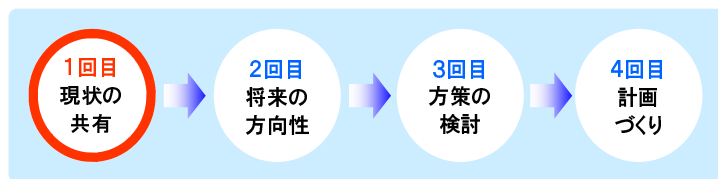
・ファシリテーターの進行がスムーズにいくように、サポートをしましょう。

■後片付け

・時間のある参加者には手伝ってもらって、後片付けをしましょう。

ここからは、具体的な運営方法として、「朝倉台地域プラットフォーム」の4回の話し合いで実際に用いられた「プログラムシート」、「案内チラシ」、「結果報告」を掲載します。参考にご覧ください。

第1回目（現状の共有）



【概要】

同じような状況にあるニュータウン(榎原市白檀地区)の事例を参考に朝倉台の現状について話し合いを行いました。議論を促すための手法として、ワールドカフェ(26ページ参照)を行いました。

1回目「プログラムシート」

「どうなる？どうする？朝倉台」第1回 プログラムシート

<狙い／成果>

朝倉台に関わる様々な団体の関係者が、お互いにつながるとともに、朝倉台の課題を共有できるようにしたい。

<対象者／人数>

朝倉台に関係する団体の代表者など／約50人

<時間／場所>

8月29日(日)9時～12時 畿央大学附属幼稚園

	時間	狙い／目標	活動内容／問い	場の設定
1	09:00 (10分)	オープニング (導入)	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長から趣旨説明 本日のゴールやプロセスの確認 	島型 (5人)
2	09:10 (10分)	アイスブレイク (話しやすくする)	<ul style="list-style-type: none"> チェックイン (自己紹介、「最近経験したうれしかったこと」、「本日の抱負」) 	島型 (5人)
3	09:20 (30分)	インプット (背景情報を提供・共有する)	<ul style="list-style-type: none"> 講演(ニュータウンの先進事例) 質疑応答 	島型 (5人)
4	09:50 (10分)		<ul style="list-style-type: none"> 話し合い(講演を聞いて、思ったこと、感じたこと) 	島型 (5人)
休憩 (15分)				
5	10:15 (10分)	ワールドカフェ (現状を理解・共有する)	<ul style="list-style-type: none"> ワールドカフェのやり方を説明 テーブル名とホストを決める 	島型 (5人)
6	10:25 (60分)		<ul style="list-style-type: none"> 「朝倉台の良いところ、改善すべきところ」ラウンド1 (20分) → ラウンド2 (20分) → ラウンド3 (20分) 	
6	11:25 (25分)	クロージング (まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> 振り返り(感想) 模造紙を壁に貼る 	島型 (5人)

<準備物>

模造紙(2枚×10グループ)、水性マーカー(10グループ分)、名札(50名分)、講演資料、アンケート用紙、飲み物 など

1回目「案内チラシ」

協働型の地域社会づくりプロジェクト

第1回

「どうなる？ どうする？ 朝倉台！」



朝倉台では、地域のさまざまな課題の解決を「朝倉台安心・安全ネットワーク」を中心に行ってきました。しかしながら、少子高齢化が進む中で、朝倉台の高齢化率は27.9%となり、桜井市や奈良県の平均を超える状況にあります。このままの状況が進めば、地域活動の継続も難しくなります。皆で知恵を出し合い、朝倉台をより住みよい街にしましょう。今回の企画は、朝倉台に関わるさまざまな団体が、現在おきている課題を認識・共有し、魅力的なまちを作るための方策を話し合う事で、具体的な解決策を導き出したいとの思いから、開催するものです。

第1回目は、同じような状況にあるニュータウンの事例を参考に、朝倉台の現状について話し合いたいと思います。

日時：8月29日(日)9:00~12:00

場所：畿央大学附属幼稚園
(桜井市朝倉台西5-1093-321)

※駐車スペースが限られていますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。(近鉄大和朝倉駅下車徒歩約10分)

主催／朝倉台安心・安全ネットワーク
共催／「協働型の地域社会づくり」プロジェクト 桜井市・奈良県ほか合同チーム
(事務局:奈良県協働推進課)

※「協働型の地域社会づくり」プロジェクトは、地域のきずなを強め、地域コミュニティが本来持っている役割を再生・強化し、地域の自主的・主体的な課題解決の取組みが行える体制を整備するため、奈良県と県内20市町村が参加して行っているプロジェクトです。

【参加予定団体】

朝倉台自治会、朝倉台自主防災会、ボランティア朝倉台、朝倉台盛春クラブ、まんてんクラブ、民生児童委員、福祉委員、朝倉台リサイクルバザー、朝倉台手づくり横丁、お話の会、人形劇スイミー、他各団体、桜井市、奈良県、など

○今後の予定

第2回~第4回を次のようなテーマで実施する予定です。

- ・第2回(9月) 朝倉台の将来の方向性を考える
- ・第3回(10月) 朝倉台の将来像に向かって必要な方策を考える
- ・第4回(11月) 方策を実行に移すための具体的な計画づくりを行う

1回目「結果報告書」

第1回 朝倉台地域プラットフォーム 結果レポート

発行
朝倉台安心・安全ネットワーク
協働型地域社会づくりプロジェクト

朝倉台地域プラットフォームは、朝倉台のさまざまな団体が、朝倉台の課題を認識・共有し、魅力的な町にするための方策を話し合う場です。朝倉台では、高齢化率が27.9%となり、桜井市や奈良県の平均を超える状況にあります。これまで、「朝倉台安心・安全ネットワーク」を中心として、地域のさまざまな課題を解決してきましたが、このままの状況が進めば、地域活動の継続が難しくなるのではないかと…そんな不安から、今回の取組みはスタートしました。



朝倉台地域プラットフォームでは、全4回を目標に、朝倉台を良くする方策を話し合います。

第一回目の参加者数は…
第一回目は、八月二十九日に、畿央大学付属幼稚園の記念館でお借りして開催されました。幼稚園では、地域への貢献を重視されていると伺ったので、会場を借りた際の申し出を快く承諾してくださいました。この場を借りて、お礼申し上げます。
さて、第一回目の案内は、朝倉台自治会をはじめ、朝倉台自主防災会、ボランティア朝倉台、朝倉台盛春クラブ、まんてんクラブ、民生児童委員、福祉委員、朝倉台リサイクルバザー、朝倉台手作り横丁、お話の会、人形劇「スイミー」、桜井市役所など、朝倉台に関わるさまざまな団体にお送りしました。

楽しく真剣に話し合いました
今回は、同じような状況にあるニュータウン(橿原市白樺地区)の事例を参考に、朝倉台の現状について話し合いました。
初めて顔を合わせる人も多く、話が盛り上がるが、少し心配していましたが皆さんとても楽しそうに、でも内容は真剣に話し合っていました。アンケートでは、「他の団体とのつながりに役立った」と答えた方が八十二%、朝倉台の課題を認識するのに役立ったと答えた方が八十八%とおおむね良く溜り出しになりました。参加して下さった皆さん、ありがとうございました。

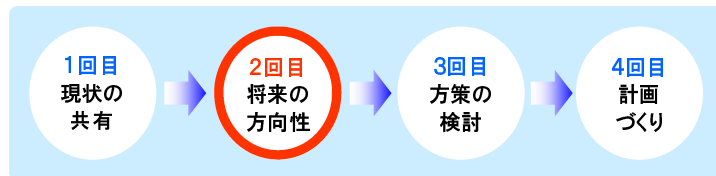


班に分かれて話し合いました。途中で人を入れ替えて、たくさんの人と話すことができました。

参加者の声は…
今回の参加者の声をいくつか紹介したいと思います。
「朝倉台にいつまでも住めるよう皆で協力してくことが大事でできるだけ参加していきたい。」
「あらためて朝倉台について考える機会が持てて良かったです。」
「朝倉台の方々のいろいろな意見が聞けて良かったです。」
「忙しくて日々を過ごして、もしも内向きになってしまいがちですが、少し見る目を広げ、街を良くしていきたい。みんなという意識が強くなりたいと思います。」
「皆さんの朝倉台を良くしていきたいという気持ちを、これまで、このような話し合いの場がなかったということを実感しました。」
朝倉台地域プラットフォームは朝倉台に関係する方であればどなたでも参加できます。ぜひ、第一回朝倉台地域プラットフォームにご参加ください。お待ちしております！

第二回朝倉台地域プラットフォーム
日時 九月十六日(日)
九時~十二時
場所 畿央大学付属幼稚園記念館
みんなで、朝倉台の将来の方向性について話し合おう！

第2回目（将来の方向性）



【概要】

朝倉台の将来の方向性について話し合いを行いました。結果、3つの方向性が示されました。

- ①住民同士の交流が盛んなまち、
- ②マナー・モラルの良いまち、
- ③生活の利便性の良いまち。

議論を促すための手法として、ブレインストーミングと親和図法(26ページ参照)を用いました。

2回目「プログラムシート」

「どうなる？どうする？朝倉台」第2回 プログラムシート

<狙い／成果>

朝倉台に関わる様々な団体の関係者が、朝倉台の将来の方向性を考え、共有できるようにしたい。

<対象者／人数>

朝倉台に関係する団体の代表者など／約50人

<時間／場所>

9月26日(日)9時～12時 畿央大学附属幼稚園

	時間	狙い／目標	活動内容／問い	場の設定
1	09:00 (10分)	導入／本日の目標と内容を理解してもらう	・自治会長あいさつ ・プロジェクトの趣旨説明 ・本日の目標や内容の確認	島型 (6人)
2	09:10 (20分)	話しやすい雰囲気を作る／お互いを身近に感じてもらう	・チェックイン(自己紹介、「最近経験したうれしかったこと」) ※個人的なことでOK(例:孫ができた、歩き出した)	島型 (6人)
3	09:30 (30分)	資源・強みを共有する／朝倉台の資源や強みを共有してもらう(実感してもらう)	・資源や強み「朝倉台にはこんな良いところがある!」(15分) ・発表(15分) ※議長・書記を決める ※具体的な内容でお願いする	島型 (6人)
休憩(15分)				
4	10:15 (45分)	具体的な将来像を描く／朝倉台の具体的な将来像を各班3つ出しってもらう	・親和図法「こんな街にしたい！私たちの理想の朝倉台」(前半) ・付箋記入(10分)＋各班討議(20分)＋発表(15分) ※抽象的な言葉にならないように注意する	島型 (6人)
席の移動・休憩(15分)				
5	11:15 (35分)	将来像を表すひとつの文章を作る／各班の将来像をまとめたひとつの文章を作り上げる	・親和図法「こんな街にしたい！私たちの理想の朝倉台」(後半) 全員討議(35分) ※各班のばらつきが大きければ、取捨選択が必要なこともありうる	扇型 (全員)
6	11:50 (10分)	クロージング(まとめ)	・振り返り(感想) ・事務連絡	扇型 (全員)

<準備物>

模造紙(2枚×6グループ)、水性マーカー(6グループ分)、名札(50名分)、資料(前回のまとめ)、アンケート用紙、付箋、飲み物 など

2回目「案内チラシ」

協働型の地域社会づくりプロジェクト

第2回

「どうなる？ どうする？ 朝倉台！」



朝倉台に関わるさまざまな団体が、地域の課題を認識・共有し、魅力的なまちをつくる方策を話し合う場として、地域プラットフォームの第2回目を開催します。

第2回のテーマは、「朝倉台の将来の方向性を考える」です。
みんなで知恵を出し合い、朝倉台を住みよい町にしましょう！

日時：9月26日(日)9:00～12:00

場所：畿央大学附属幼稚園 記念館

(桜井市朝倉台西5-1093-321)

※駐車スペースが限られていますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。(近鉄大和朝倉駅下車徒歩約10分)

主催／朝倉台安心・安全ネットワーク

共催／「協働型の地域社会づくり」プロジェクト 桜井市・奈良県ほか合同チーム (事務局:奈良県協働推進課)

【参加予定団体】

朝倉台自治会、朝倉台自主防災会、ボランティア朝倉台、朝倉台盛春クラブ、まんてんクラブ、民生児童委員、福祉委員、朝倉台リサイクルバザー、朝倉台手づくり横丁、お話の会、人形劇スミエ、他各団体、桜井市、奈良県、など

○今後の予定

第3回～第4回を次のようなテーマで実施する予定です。
・第3回(10月) 朝倉台の将来像に向かって必要な方策を考える
・第4回(11月) 方策を実行に移すための具体的な計画づくりを行う

※「協働型の地域社会づくり」プロジェクトは、地域のきずなを強め、地域コミュニティが本来持っている役割を再生・強化し、地域の自主的・主体的な課題解決の取組みが行える体制を整備するため、奈良県と県内20市町村が参加して行っているプロジェクトです。

2回目「結果報告書」

第2回 朝倉台地域プラットフォーム 結果レポート

実行 朝倉台安心・安全ネットワーク 協働型の地域社会づくりプロジェクト

朝倉台地域プラットフォームは、朝倉台のさまざまな団体が、朝倉台の課題を認識・共有し、魅力的な町にするための方策を話し合う場です。
朝倉台では、高齢化率が27.9%となり、桜井市や奈良県の平均を超える状況にあります。これまで、「朝倉台安心・安全ネットワーク」を中心として、地域のさまざまな課題を解決してきましたが、このままの状況が進めば、地域活動の継続が難しくなるのではないかと不安から、今回の取組みはスタートしました。



朝倉台の将来の方向性
第2回目は、九月二十六日に、「朝倉台の将来の方向性」について話し合いました。
場所は、第一回目と同じ畿央大学附属幼稚園。いつもありがとうございます！
さて、第二回目の参加者は、二十七名、第一回目の参加者より少なかったですが、用事が重なったため参加できなかったとのこと、少し安心しました。
参加者の団体は、朝倉台自治会をはじめ、朝倉台自主防災会、ボランティア朝倉台、民生児童委員、朝倉台盛春クラブ、ナボ君の家、お話の会、手作り横丁、歌謡教室、フオー

より深い話し合いに♪
前回は、班に分かれて話し合いましたが、途中で人を入れ替えることで、よりたくさんの方と話ができるようになりました。これは、たくさんの方々と話をする事ができる反面、あまり深い話をする事ができません。そこで、今回は、途中で人を入れ替えずに、人を固定して話し合いをしました。



今回は、人を固定して、班ごとに話し合いました。前回より、深〜い話ができたと感じます。

クダンス「つばき、お花の会、書道サークル、朝倉台リサイクルバザー、奈良県交通安全協会桜井支部朝倉小地区、桜井市役所など、朝倉台に関わるさまざまな団体の方が参加してくださいました。

参加者の声は：
今回の参加者の声をいくつかご紹介したいと思います。
「日頃お会いしたり、話したことがない方々と話ができ、良かったです。」
「いろいろな意見を聞かせていただき、参考にまりました。」
「みなさんの意見を聞いて、あらためて朝倉台の住民であることをうれしく思いました。」
「一人ひとりの力は微々たるものであっても、できるだけ協力・参加していきたいです。」
「具体的な方策の話し合いになるのが楽しみです。」

て、主に次の三つの方向性が示されました。
①住民同士の交流が盛んなまち
②マナー・モラルの良いまち
③生活の利便性が良いまち
また、なんと九十七%の方が、「朝倉台の将来の方向性を考えるのに役立つ」と答えてくださいました！

第2回朝倉台地域プラットフォーム
日時 十二月十日(日)
九時～十時
場所 畿央大学附属幼稚園記念館
朝倉台の将来像に向かって必要な方策について話し合いました！